

## 2 研究の実際 &gt; (2) トラブルについての実態調査

## ウ トラブルの場面とトラブル未然防止のスキルとの関連

研究委員会において、実態調査の項目となっているそれぞれのトラブルの場面と「12のソーシャルスキル」との関連について、トラブルの未然防止という視点で分析を行いました。

それぞれのトラブルの場面において、児童生徒が「12のソーシャルスキル」のポイント(次頁表1)のいずれかを身に付けておけばこのトラブルは起きないのではないかという観点で検討し、トラブルの未然防止に必要なスキルを選択しました(次々頁表2~4)。

## &lt;トラブルの場面と「12のソーシャルスキル」との関連&gt;

トラブル未然防止のスキル学習については、次頁表1~表4から次のように考えます。

- 全てのトラブルの場面において、トラブルの未然防止のためには児童生徒が複数のスキルを身に付けておくことが必要であると考えます(次々頁表2~4)。
- トラブルの未然防止に、特に必要なスキルは、「上手な聴き方」と「気持ちをわかって働きかける」「やさしい頼み方」「上手な断り方」の4つでした。その中でも、「上手な聴き方」と「気持ちをわかって働きかける」は、全てのトラブルの未然防止において必要なスキルであると考えます(次々頁表2~4)。
- 高等学校の「自分を大切にする」のスキルのポイントには、深呼吸等が挙げられています。これらのポイントは怒りへの対処法となるため、「自分を大切にする」は全てのトラブルの未然防止において必要なスキルであると考えます(次頁表1)。このスキルは、活動プログラムの「怒りについて知る」で学習することとします。

上記のことから、トラブル未然防止のスキル学習について次のように考えます。

- トラブルの未然防止に必要な複数のスキルを別々に学習するよりも、複数のスキルを同時に学習することが効果的であると考えます。
- トラブルの未然防止に必要な「トラブルにならないような聴き方」と「トラブルにならないような話し方」の学習を行うこととします。
- 「トラブルにならないような聴き方」の学習は、「上手な聴き方」と「気持ちをわかって働きかける」のスキルのポイントを基に行うこととします。トラブルの未然防止という視点から、「上手な聴き方」のポイントだけでは不十分であると考え、「気持ちをわかって働きかける」と併せて学習することとします。
- 「トラブルにならないような話し方」の学習は、「やさしい頼み方」と「上手な断り方」のスキルを併せて学習することとします。これらのスキルは、主張行動スキルの一部であり、[アサーション](#)(自分も相手も大切にしたい自己表現)と関連しています。トラブルの未然防止という視点から2つのスキルをアサーションとして、同時に学習することとします。

表1 「12のソーシャルスキル」のポイント

	ポイント(小学校)	ポイント(中学校)	ポイント(高等学校)
<b>基本的なかかわりスキル</b>			
1	あいさつ	相手の顔を見て ・笑顔で ・聞こえる声で ・自分から	・笑顔で ・相手を見て ・大きな声で ・お辞儀(会釈)をする
2	自己紹介	相手の顔を見て ・聞こえる声 ・表情を加えて	・笑顔で ・相手を見て ・聞こえる声で ・自分の特徴を簡潔に
3	上手な聴き方	相手の顔を見る ・うなずきながら聴く ・相づちを打つ ・最後まで聴く ・質問する	・相手の方に身体を向ける ・話している人を見る ・相づちを打つ、うなずく ・最後まで話を聴く
4	質問する	都合を聞く ・聞きたいことを決めて話す ・お礼を言う	・あいさつをする ・相手の都合を確認する ・聞きたいことを整理する ・お礼を言う
<b>仲間関係発展・共感的スキル</b>			
5	仲間の誘い方	・笑顔で ・近づく ・相手を見て ・聞こえる声で ・活動内容を伝えて誘う	・相手に近づいて ・相手の目を見て ・聞こえる声で ・笑顔で
6	仲間の入り方	・相手に近づく ・笑顔で話し掛ける ・仲間に入りたいことを伝える ・相手の顔を見る	・近くに行く ・目を見て言う ・聞こえる声で言う ・笑顔で言う
7	あたたかい言葉かけ	・相手に近づく ・相手を見る ・「出来事+やさしい言葉」で言葉を掛ける	・相手に近づく ・適度な声の大きさ ・相手を肯定する ・相手を思いやる言葉を添える
8	気持ちをわかって働きかける	・相手の様子をよく見る ・「自分も○○(気持ち)だよ」で共感する言葉を伝える	・相手を観察する ・共感する言葉を伝える ・相手の気持ちを分かかって行動する
<b>主張行動スキル</b>			
9	やさしい頼み方	・頼まれて相手が嫌がらないか考える ・頼みたいことをはっきりさせる ・命令ではなく、お願いする ・理由を言う	・相手の状況を考えて声を掛ける ・理由を説明する ・具体的な内容を示す ・あいさつ(感謝)をする
10	上手な断り方	・あやまる気持ちを言う ・断る理由を言う ・できないことをはっきり言う ・次の約束や代わりアイデアを言う	・謝罪(感謝)を言う ・理由を言う ・断りを言う ・代案を提案する
11	自分を大切にす	・落ち着いて勇気をつける ・相手の目を見る ・はっきり嫌だと伝える	・深呼吸 ・カウントダウン ・自己会話 ・心地よいイメージ
<b>問題解決技法</b>			
12	トラブルの解決策を考える	【トラブル解決の手順】 ①何が問題なのか考える ②自分が望む結果を考える ③解決方法をたくさん考える ④結果を予想する ⑤よりよい解決方法を選び、実行する	【トラブル解決の手順】 ①問題をはっきりさせる ②解決策をたくさん考える ③解決策を実行したときの結果を予想する ④解決策を決める ⑤解決策を実行する ⑥成果を確かめる

表2 小学校のトラブルの場面と「12のソーシャルスキル」の関連

トラブルのタイプ	小学校のトラブルの場面	トラブルの未然防止に必要なスキル												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
したいこと	1	新しい本を自分が先に読みたいと言って、AさんとBさんがもめている。			○					○	○	○		
	2	グループ活動のとき、自分がリーダーをしたいと言って、AさんとBさんがもめている。			○					○	○	○		
	3	掃除中、AさんがトイレトイレットペーパーをBさんより先に取りに行ったことでもめている。			○					○	○			
	4	特別教室のかぎを自分が取りに行きたいと言って、AさんとBさんがもめている。			○					○	○	○		
	5	列に並ぶとき、自分が先だと言って、AさんとBさんがもめている。			○					○	○	○		
したくないこと	6	ボール遊びをした後、AさんもBさんもボールを片付けたくなくてもめている。			○					○	○	○		
	7	掃除のバケツをAさんもBさんも片付けたくなくてもめている。			○					○	○	○		
	8	日直の仕事をAさんもBさんもしたくなくてもめている。			○					○	○	○		
誤解・ くいちがいがい	9	Aさんが友だちと話をしていたときに、BさんがAさんに「私の悪口を言ってたでしょ」と言ってもめている。			○					○				
	10	AさんがBさんの牛乳を配り忘れたとき、Bさんが「わざと配らなかった」と言ってもめている。			○					○				
	11	ドッジボールで、ボールが当たったか当たっていないかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	12	ろう下を走ったか、走っていないかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	13	通りすがりに机にぶつかったとき、わざとぶつかったかわざとではなかったかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	14	悪口を言ったか、言っていないかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	15	サッカーやドッジボールで、ボールが線から出たか出ていないかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
16	最初は、2人でふざけて遊んでいたがいつの間にか本気になって、AさんとBさんがもめている。			○					○					
ルールや マナー	17	遊んでいるとき、順番を守らないAさんにBさんが注意をしてもめている。			○					○	○			
	18	掃除をしないAさんにBさんが注意をしてもめている。			○					○	○			
	19	みんなで遊ぶと決めた日に、いっしょに遊ばないAさんにBさんが注意をしてもめている。			○					○	○			
	20	授業が始まって本を読むのをやめないAさんにBさんが注意をしてもめている。			○					○	○			
	21	AさんがBさんに「一緒に遊ぼう」と言ったときに、断られてもめている。			○					○	○	○		
	22	Aさんが授業で2人組をつくるときに「一緒にしよう」と言ったら、Bさんに断られてもめている。			○					○	○	○		
	23	AさんがBさんと「一緒に行こう」と約束していたが、他の友だちと行っていることが分かりもめている。			○					○	○			
	24	AさんがふざけてBさんが嫌がるあだ名で呼んでもめている。			○					○	○	○		
25	AさんがBさんの好きな人を友だちにばらしたことでもめている。			○					○	○	○			
言い方	26	Aさんが「トランプをしたい」と言ったら、Bさんが「いや」と言ってもめている。			○					○	○	○		
	27	話し合いでAさんが強い言い方をしたことで、Bさんが腹を立ててもめている。			○					○	○	○		
	28	Aさんが投げたボールをBさんが取りそこねて、「ちゃんと取れ」「ちゃんと投げろ」と言い合ってもめている。			○					○				
	29	物を運んでいるとき、AさんがBさんから「ちゃんと持ってよ！」と強く言われて、もめている。			○					○				
	30	Aさんが「Bさん、給食当番でしょ！早くして」と言ったことで、Bさんが腹を立ててもめている。			○					○				
	31	Aさんの掃りの用意が遅くて、Bさんから「早くして」と強く言われてもめている。			○					○	○	○		
	32	サッカーのゴールキーパーをしているAさんが点数を入れられ、Bさんから文句を言われてもめている。			○					○				

「12のソーシャルスキル」の内容を表では以下の番号で表します。

- |    |           |    |               |   |         |    |        |   |        |   |        |  |
|----|-----------|----|---------------|---|---------|----|--------|---|--------|---|--------|--|
| 1  | あいさつ      | 2  | 自己紹介          | 3 | 上手な聴き方  | 4  | 質問する   | 5 | 仲間の誘い方 | 6 | 仲間の入り方 |  |
| 7  | あたたかい言葉かけ | 8  | 気持ちをわかって働きかける | 9 | やさしい頼み方 | 10 | 上手な断り方 |   |        |   |        |  |
| 11 | 自分を大切に    | 12 | トラブルの解決策を考える  |   |         |    |        |   |        |   |        |  |

表3 中学校のトラブルの場面と「12のソーシャルスキル」の関連

トラブルのタイプ	中学校のトラブルの場面	トラブルの未然防止に必要なスキル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
したいこと	1 学校行事などのリーダーを自分がしたいと言って、AさんとBさんがもめている。			○					○	○			
	2 グループでの実験などを自分がしたいと言って、AさんとBさんがもめている。			○					○	○			
	3 雨の日の部活動で、どの部活がどの場所を使うかで、AさんとBさんがもめている。			○					○	○			
したくないこと	4 授業中に、グループの代表にAさんもBさんもなりたくなくてもめている。			○					○	○	○		
	5 掃除の時間に、ぞうきんがけやバケツの片付けをAさんもBさんもしたくなくてもめている。			○					○	○	○		
	6 日直の仕事をAさんもBさんもしたくなくてもめている。			○					○	○	○		
	7 係の仕事で呼ばれたときに、AさんもBさんも行きたくなくてもめている。			○					○	○	○		
	8 遊んだ後、AさんもBさんも道具を片付けたくなくてもめている。			○					○	○	○		
	9 提出物を集める係のAさんと、提出が遅れたBさんがどちらも提出物を持っていきたくなくてもめている。			○					○	○	○		
	10 係活動や当番活動で休んだ人の仕事をしたくなくて、AさんとBさんがもめている。			○					○	○	○		
誤解・ くいちがひ	11 いらんだか、いらんでないかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	12 たいたか、たいていないかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	13 文房具などを取ったか、取っていないかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	14 机の上の文房具を落としたり、わざと落としたり、わざとではなかったかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	15 道具を借りたAさんが、持ち主のBさんに貸してと言ったか、言っていないかでもめている。			○					○				
	16 飲んだ後の牛乳パックがAさんの机に置いてあり、Bさんが置いたか、置いていないかでもめている。			○					○				
	17 Aさんの机にBさんが落書きしたか、していないかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	18 体育や部活動中にボールをわざと当てたか、当てていないかで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	19 友だちとふざけていたAさんが、近くにいたBさんにぶつかったとき、謝らないことでもめている。			○					○				
	20 部活動で、AさんがBさんに真面目に練習してほしいと注意したが、Bさんが真面目にしていると言って、もめている。			○					○	○			
	21 グループの話し合い活動で、Aさんが反対意見ばかり言って意見がまとまらないことに、Bさんが腹を立てもめている。			○					○		○		
	22 最初は2人でふざけて遊んでいたが、いつの間にか本気になって、AさんとBさんがもめている。			○					○				
ルールや マナー	23 時間を守らないAさんに、Bさんが注意してもめている。			○					○	○			
	24 自転車置き場で、マナーを守らないAさんに、Bさんが注意してもめている。			○					○	○			
	25 授業中、私語をしているAさんに、Bさんが注意してもめている。			○					○	○			
	26 教科書やシューズなどを、Aさんから借りたBさんが返していないことでもめている。			○					○	○			
	27 掃除中、いつも楽な仕事ばかりしているAさんに、Bさんが注意してもめている。			○					○	○			
	28 一緒に行こうと約束していたのに、他の友達と行ってしまったことで、AさんとBさんがもめている。			○					○				
	29 日直などの仕事を忘れていたAさんに、Bさんが注意してもめている。			○					○	○			

「12のソーシャルスキル」の内容を表では以下の番号で表します。

- |    |           |    |               |   |         |    |        |   |        |   |        |
|----|-----------|----|---------------|---|---------|----|--------|---|--------|---|--------|
| 1  | あいさつ      | 2  | 自己紹介          | 3 | 上手な聴き方  | 4  | 質問する   | 5 | 仲間の誘い方 | 6 | 仲間の入り方 |
| 7  | あたたかい言葉かけ | 8  | 気持ちをわかって働きかける | 9 | やさしい頼み方 | 10 | 上手な断り方 |   |        |   |        |
| 11 | 自分を大切に    | 12 | トラブルの解決策を考える  |   |         |    |        |   |        |   |        |

表4 高等学校のトラブルの場面と「12のソーシャルスキル」の関連

トラブルのタイプ	高等学校のトラブルの場面	トラブルの未然防止に必要なスキル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
したいこと	1 体育祭の応援リーダーを希望しているAさんとBさんが、お互い譲らずにもめている。			○					○	○		○	
	2 文化祭の出し物決めるとき、AさんとBさんの意見が合わずに、2人が口をきかなくなっている。			○					○	○		○	
	3 バスの座席を決めるときに、AさんもBさんも同じ人と座りたくてもめている。			○					○	○		○	
したくないこと	4 掃除の時間に、Aさんがいつも楽な仕事ばかりをしたがるので、Bさんが困っている。			○					○		○	○	
	5 教室の鍵を、AさんとBさんのどちらがなくしたのかもめている。			○					○			○	
誤解・くいちがい	6 AさんがBさんから答えにくいことを尋ねられて、困っている。			○					○	○	○	○	
	7 Aさんは謝ったが、Bさんは謝り方が気に入らず、2人共怒っている。			○					○			○	
	8 部活動で、AさんがBさんに真面目に練習してほしいと注意したが、Bさんが素直に受け入れずもめている。			○					○	○		○	
	9 話し合いのとき、Aさんがどの意見に対しても否定的なことを言って意見がまとまらずに、リーダーのBさんが困っている。			○					○		○	○	
ルールやマナー	10 クラスマッチでAさんが失敗したことを、Bさんが責めている。			○					○		○	○	
	11 AさんがBさんの教科書やシューズなどを勝手に借りていき、Bさんが困っている。			○					○	○	○	○	
	12 Aさんから教科書や漫画本などを返してもらえなくて、Bさんが困っている。			○					○	○	○	○	
	13 Aさんが掃除をさぼるので、真面目にやっているBさんが不満を感じている。			○					○	○	○	○	
	14 Aさんが駐輪場で決められた場所に置かずに、Bさんが困っている。			○					○	○	○	○	
	15 Aさんがパンの袋やペットボトルなどのゴミを持ち帰らずに、近くの席のBさんが困っている。			○					○	○	○	○	
嫌がらせ	16 Aさんが騒がしくて、Bさんが授業に集中できずに困っている。			○					○	○	○	○	
	17 授業中に発表して答えを間違えたAさんが、Bさんに笑われて嫌な思いをしている。			○					○	○	○	○	
	18 AさんがBさんを変なあだ名で呼んだことで、Bさんが嫌な思いをしている。			○					○	○	○	○	
	19 隣の席のAさんがBさんにちょっかいを出してきて、Bさんが困っている。			○					○	○	○	○	
	20 AさんがBさんの悪口を陰で言っていることに対して、Bさんが何も言えないで困っている。			○				○	○	○	○		

「12のソーシャルスキル」の内容を表では以下の番号で表します。

1	あいさつ	2	自己紹介	3	上手な聴き方	4	質問する	5	仲間の誘い方	6	仲間の入り方
7	あたたかい言葉かけ	8	気持ちをわかって働きかける	9	やさしい頼み方	10	上手な断り方				
11	自分を大切に	12	トラブルの解決策を考える								